



町政懇談会



町政懇談会は11月21日～29日までの計5日にわたって、11地区を対象に開かれ、町民の皆様から貴重なご意見をいただきました。

写真は、最終日に町民会館で撮影したものです。

はじめに、町長あいさつ(要約)

昨年の町政懇談会に引き続き今年も年内での開催とさせていただきます。来年以降についても、出来る限り皆様からのご意見・ご要望を町政に反映できるように、新年度予算が確定する前での開催をと考えておりますので、年末のお忙しい時期とは思いますが、よろしくお願いいたします。

さて、令和2年度より第9次総合振興計画に沿ってまちづくりを進めているところでありますが、この町政懇談会の中で頂いたご意見・ご要望も多くまちづくりに反映させていただいております。

宿泊施設が足りないとの要望では、ムービングハウス2棟の設置。遊水公園うららの物販販売として、販売所と更衣室の設置。現在は仮店舗での営業となっております。現在は仮店舗での営業となっております。現在、温泉レストランの料理の質の向上。メディアなどを活用して町のPRを行う事業としては、テレビや雑誌などを活用して地域おこし協力隊の採

用や地域活性化起業者としてDMM・comの職員の派遣をいただき、妹背牛町のPR事業やふるさと納税の寄附額向上に向けて様々な提案をいただいているところです。また、特産品の開発では、米子ちゃんを漬け込んだジンギスカンを開発し、近々新たなジンギスカンも追加する予定であります。町民の皆さまからいただいたご意見・ご要望をヒントとし、この3年間で少しずつではありますが、新たな事業展開を進めてまいりました。

さらに近年は北海道の気候も地球温暖化の影響により、変わってきている状況となっております。そこで昨年12月に妹背牛町としてもゼロカーボンシティ宣言を表明し、今後、脱炭素化に向けて調査・検討を進めているところでもあります。取り組みとしては環境省の補助を使って、妹背牛町としての再エネポテンシャル調査を行い、現段階では公共施設などへの太陽光パネルの導入調査を行っております。

説明（要約）

妹背牛温泉「ペペル」は、令和6年4月27日にリニューアルオープンする予定です。オープン後は、電気料金や燃料費の高騰をはじめ、食材や資材、人件費も値上がりしている状況から、開業以降30年間変わらない入館料で営業することが難しくなりました。

現行の料金体制では、10年間で約7億円の赤字が見込まれることから、町内料金の500円は据え置きつつ、町外からの利用を700円に値上げし、優待券の会員券・シルバー券を廃止する方向で検討しています。10回分の料金で12回の入館ができる回数券の販売は継続します。

また、4月には内覧会、町民の皆様限定のプレオープンも計画しています。

Q. 料金の値上げについてのご意見・ご要望

・料金の値上げは理解できるが、試算は値上げによる利用率の減少が反映されているのか。

・料金改定はやむを得ないと考える。値上げに伴う客数の減少は、その時に対策を講じても良いのでは。反対意見だけではなく、賛成意見もあることを忘れてほしい。

・リニューアルから2、3年程度は、人が来ると思う。ただし、その後は減る可能性があるため、赤字とならない経営をしてほしい。高齢者は良いが、今後の若い世代にそのリスクを負わすことの無いようにしていただきたい。

・新規のお客さんを獲得することだけではなく、既存客を離さないアイデアもぜひ考えてほしい。

A. 主な回答

・売上算出方法についてはスタート時が入館者18万人と設定しています。そこから10年間で北空知管内は2割減、その他の地域は1割減で積算。コロナ禍前の入館者数よりも少なく見積もっており、値上げによる利用率の減少も反映されています。

・近隣も赤字経営の中、利用しない方も町の財政を投入しています。町としては、財政が耐えられる赤字額を考え、算出したものです。まずはリニューアルを機にこの案を進めさせていただき、その後は状況をみながら検討していきます。

Q. 町外者への対応、近隣施設との料金差について

・大規模に改修して近隣からも注目されていることから、料金が上がることは仕方ない。シルバー券については、町外者を廃止し、町内者は継続するなどの対応をしてほしい。

・今まで町外者に対しても優遇し、赤字を町が補ってんしているのであれば、町外者への優遇は廃止しても構わないと思うが、入館者の減少は避けられないため、今後その動向を確認しながら見極めてほしい。

・北空知は全て500円で施設を運営している中、妹背牛は町内外で差をつけるという挑戦的なスタンスで考えている。他の施設が以前、料金を上げてすぐ戻した経緯がある。そのあたりも十分加味した計画となっているのか。

・温泉の回数券は、近隣は11枚の施設もあるため、12枚でなくても良いのでは。また、入館料も町外者を値上げするのはやむを得ないと思う。妹背牛が値上げしたことを機に近隣も値段を上げる可能性がある。

A. 主な回答

・町民の皆様は、公衆浴場と同等額の500円ですが、町外者は利用者負担として700円に設定しています。近隣施設も毎年多くの赤字を抱えており、本町が町外利用者からはある程度適正な料金をいただきたいながら、赤字の圧縮を行った場合、近隣施設も町外者の利用については値段を上げざるを得ないのではないかと考えています。

・北空知はすべて500円、新十津川が600円、滝川が630円、美唄が650円（町内500円）、長沼が700円（町内650円）、南幌が750円、三笠が760円（土日860円）、岩見沢が800円となっています。

・町民の料金を500円として設定しているが、600円や650円でも良いのではないか。また、シルバー券の廃止は良いが、月1回程度の割合でリニューアル後の料金の7割程度で入れる日の設定などが良いのではないかと。

・これだけ人口が減っている中で、難しい問題であるが本当に会員券を廃止して人がくるのか。

・バスオトルなどの有料レンタルサービスを導入してはどうか。

・個人的にはシルバー券も会員券もいらない。

A. 主な回答

・町民の料金の値上げも考えましたが、近隣施設で値上げした料金をすぐに戻した経緯もあり、町外者のみの値上げとしました。施設を利用する方には、ある程度の適正な料金をいただき、少しでも赤字を解消すべきと考えています。町民には公衆浴場の要素も含め、全道の銭湯と同等額の500円で設定しています。

・会員券のサービスは今までが異常な安さでした。これを続けると町民に対して現在実施している助成事業などを廃止せざるを得ないため、温泉利用者がいる程度の負担をしていただきたいと思っております。

・タオトルなどの有料レンタルサービスについて、温泉と協議し、前向きに検討します。

Q 近年の夏の暑さは異常であるため、町として暑さ対策はどの様に考えているのか。

A 来年、小中学校へエアコンを設置し、保育所にも増設予定です。りぶれなども予算要求をする予定であり、温泉のエアコンを保健センターの一部に移設を行う予定。そのほかについては、経費がかかることから、未定となっています。

議題2

防災行政無線の戸別受信機の貸与申請について

説明(要約)

妹背牛町は令和7年度から、防災情報システムの運用を開始する予定です。

町内の住民登録世帯、学校、医療・介護施設などを対象に戸別受信機を無料で貸し出します。

配信内容は定時放送、イベントやお悔みなどの臨時放送、Jアラートなどの緊急放送です。

「もせうし防災・行政ナビ(仮称)」を導入することで、日常生活に合わせた各種行政情報、防犯や防災、イベント情報などがお持ちのスマートフォンなどに届きます。こちらも無料でご利用いただけます。

戸別受信機の申請期間は令和6年1月～3月で、同年11月からテスト運用が始まります。

行政ナビの専用アプリは令和7年4月からインストールできる予定です。

戸別受信機について

ご意見・ご質問

Q 防災無線は全戸配布可能で、台数制限はないのか。

A 全戸から申請がくれば、配布可能です。同一住宅複数台は基本的にできませんが、二世帯住宅などについては検討しています。

Q 防災システムについて、コロナクチンや生きがい講座のお知らせがLINEできていますが、情報の発信という観点で見るときに分ける必要があるのか。

A LINEでの情報提供は容易ですが、情報の精査や過去の情報を参照することが難しいです。防災・行政情報などを発信する上で、過去情報の参照や選別は重要で、防災システムを導入しました。

Q 今一番困っているのは、若い世代の人たち。役員が何度も繰り返し当たる。区長会も2区から11区の人たちが集まる必要があるのか疑問を感じている。行政から農家地区の再編についての協議をお願いしたい。

A 農事組合の北・中央・南の中の班編成として、今まで地区の名前を残した形も検討しながら、まずは区長会で話題提供をし、行政としてどのように動くのか、次の時代に間に合うように検討していきます。

Q クマ対策は近隣との連携も必要かと考えるが、そのような連携はとっていないのか。

A 妹背牛は平地でこれまでクマが出る事例が少なく、対策は遅れています。今後先進事例などを勉強し、空知総合振興局などと連携しながら、地域にあった対策を検討していきます。